

2009.5

あつかし 荘だより

まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。



リレー エッセイ



佐藤進也
介護士

介護はやりがいのある仕事です

私があつかし荘に勤めるようになり、早いもので8年目を迎えました。「介護」という仕事はたいへん奥が深く、やりがいのある仕事だと感じています。また、笑顔の素敵な利用者様が多く、お話をする中でこの仕事に携わることができてよかったと改めて感じる時間を過ごさせて頂いています。

今後も利用者様が穏やかな生活を送り、ご家族様にも安心して頂けるよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

絵本の世界に感動 読み聞かせて絆をふかめる

国見・読み聞かせの会がボランティア来園

2月19日、国見町の絵本読み聞かせボランティアのメンバーが来園され、利用者の皆さんに昔話の絵本を読み聞かせてくださったり、わらべ唄ほかの昔あそびなどを一緒に楽しんだり、利用者の皆さんにとっては懐かしいひとときを過ごさせていただきました。

当日は、内池和子様はじめ10名の方々が来園され、3つのグループにわかれて、それぞれに絵本の読み聞かせやわらべ唄などを披露していただき

ました。

利用者の皆さんは、絵本をじっと見つめて、話し手の言葉に耳を傾け、とてもおだやかな表情をしておられたのが印象的でした。

メンバーの皆様は月に一度、観月台文化センターで活動されております。

「子どもにとっての読み聞かせは、人の言葉に耳を澄まし、言葉の意味をきちんと分かるようにするため、その一助としての役割からなされるもの」と内池さんは『広報くみに2月号』で話しておられます。

子どもだけでなくお年寄りにとっても、五感を刺激する効果的な取り組みであるばかりか、想像力や表現力が高まるとともに、話し手である介護者との貴重なコミュニケーションの機会として位置づけられることがわかりました。ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



▲読み聞かせに目と耳を傾ける利用者の皆様

■これからのおもな行事予定

5月

- 3日 おやつバイキング
- 11日 ホーム内喫茶
- 14日 あつかしバスツアー
(宮城県川崎町方面予定)
- 17日 おやつバイキング
- 21日 阿津賀志食堂 (選択食)
- 28日 手づくりランチ
お楽しみツアー

6月

- 1日 ホーム内喫茶
- 11日 日帰り温泉ツアー (土湯温泉)
- 18日 阿津賀志食堂
- 25日 移動売店

7月

- 2日 七夕飾り
- 6日 ホーム内喫茶
- 9日 手づくりランチ
- 16日 阿津賀志食堂

※日程は予定ですので、変更となる場合もあります。どうぞご了承ください。

職員の心の余裕が、 利用者の幸せにつながる。

苦情解決委員会第三者委員 **佐藤豊治さんに聞く**



佐藤豊治さん
国見町介護保険運営協議会委員
社会福祉法人信達福祉会評議員

3月3日、平成20年度「ボランティアのつどい」を開き、定期ボランティアの代表の方々10名にお集まりいただきました。苦情解決委員会第三者委員である佐藤豊治さんから「利用者の権利擁護とボランティアに期待するもの」と題した講話をお聞きしました。

利用者の立場で接する

私は定期的に訪問して利用者の皆さんとお話をしていますが、いかにコミュニケーションをとるかに苦労しています。何よりもまずあいさつをすることが大切ですね。そしてお話をするときには、同じ目線で接します。ことば遣いにも気をつけなければなりません。利用者さんの表情をみることも必要です。そして、訪問が終了した際には、園長に会話の内容などを必ず報告

しています。いずれにしても、利用者の方々の立場で接することが大事だと思っています。

最近、認知症に関するテレビ番組がよく放映されていますが、それらの知識をもつことも大事です。医者は病気を治すだけではなく、心をも治す存在になっているようです。『あつかし荘だより』にもたびたび紹介されているのでぜひ読んでほしいと思います。

利用者の権利を守る 職員の質が問われる

ボランティアさんの協力があれば、職員に少しは余裕ができて、そのことが利用者の幸せにつながります。「住んでよかった」と思うのは、施設の建物ではなく、中身(=人材)です。そして利用者の権利を守るには職員の質



▲定期ボランティアの代表の皆さんが問われます。よい介護は職員に心の余裕がないとできません。いかに余裕をもって仕事に臨むかが課題となってくるでしょう。しかし、ただ単に職員を増やせばいいかというと、そう簡単なことではありません。

ボランティアさんの協力をいただくことによって、利用者からの苦情等が少なくなることもつながります。皆さんには何かとお世話になっていることをあらためて御礼申し上げますとともに今後ともよろしく願います。



▲佐藤豊治さん(中央)と第三者委員の中川芳明さん(左)

ボランティアの皆様からの あつかし荘に対するご意見、ご要望

- ・訪問すると「待っていたよ」との声をかけてくれる利用者様が居るのでうれしい。
- ・利用者様との話し合いでは、何を話してよいか分からないときがある。
- ・個々の利用者様にどんな話をすればよいか分からないので、生い立ちなど情報を教えていただくとともに、職員と一緒に話していただくとよい。



▲皆様からご意見をいただきました

- ・ベッドや車いすの名前シールがなくなって、名前で呼びかけることができな

くなった。名前がわからないとコミュニケーションがとりにくい。

- ・(ボランティアの)名札をつけていると話が弾むのでよい。
- ・ボランティアを通して、お年寄りの気持ちがわかるようになった。
- ・施設建物は古いですが、職員の対応はよくできていると思う。
- ・施設的环境整備などに職員の苦勞と工夫を感じる。以前に比べて環境が明るくなったように感じる。
- ・夏祭りでは職員の一所懸命さが伝わってくる。

●ボランティア担当より御礼

皆様には日頃からたいへんお世話になっております。ご指摘いただいた、利用者様とのお話の際には、できるだけ職員も一緒に対応させていただきます。また、ボランティアの皆様には名札を用意しますのでご活用ください。

職員の態度や設備等に不適切な部分がありましたら、ご遠慮なくご指摘くださいますようお願いいたします。

あつかし

かわらばん

新年会にヴィオラ演奏 楽しいひとときを過ごす



1月8日の新年会では、国見町の菅野利津子様と福島市の渡辺貞子様による大正琴、オカリナ、ヴィオラのお祝い演奏会が行なわれました。

ヴィオラとは、大正琴をヴァイオリンのように弦を弓でこすったり、ギターのように指で弾いたりする新しい楽器・奏法です。「東京ラプソディ」「北国の春」に始まり、「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」「蘇州夜曲」など、懐かしい曲を中心に演奏が行なわれ、利用者の皆さんはともに歌ったり、リズムをとったりし

ながら楽しい時間を過ごしました。

また、この日は寿司職人による寿司バイキングも行なわれ、でき立てのお寿司に舌鼓を打ちました。

▲寿司職人による寿司バイキング

今月のワンポイント 認知症 ①

あつかし荘では、認知症に対する理解を深め、「一人ひとりの利用者のその人らしさを大切に、その人を中心としたケア」ができるよう取り組みをすすめています。「今月のワンポイント認知症」では、信達福祉会『認知症高齢者へのケア』マニュアルから、認知症の理解を深めるポイントをご紹介します。

認知症とは

認知症とは「いったん発達した知能が様々な原因で持続的に低下した状態（年

だんごさしで家内安全、 無病息災を願う

1月10日、桑折町青少年育成町民会議半田部会の皆様に「だんご飾り」を今年もお届けいただきました。ミズキの枝に紅白のだんごや色とりどりの小判、宝船などの縁起物が飾られ、ホールが明るくにぎやかにになりました。利用者の皆さんとともに一年の健康を願いました。



▲桑折町青少年育成町民会議半田部会の皆様

新年最初のレクは書初め 気持ちも新たに筆をとる

1月22日、新年最初のレクリエーションは書き初めです。真っ白い紙を前にして気持ちを新たに、心を込めて筆をとりました。「もち」「うし」「正月」など、新年にふさわしい手本を選び、それぞれに新しい年を実感いたしました。



▲真剣に書初めに挑む利用者の皆さん

防火対策を考える 職員防災研修ひらく

2月19日、中央消防署西分署・朝倉誠署長をお迎えし防災研修を行ないました。最近、他県において福祉施設での火災が発生するなど火災対策は急務となっております。研修では、過去の火災事案を例に防火対策を示していただき、消防設備、避難訓練、防災点検・教育のほか、近隣住民との災害時応援協力体制の構築の重要性が強調されました。あつかし荘でも一層の防火対策に力を尽くしたいと考えておりますので、地域の皆様のご協力を引き続きよろしくお願い致します。



▲朝倉・西分署長の防災講話

梁川保育園児の皆さんと 楽しいひな祭り会

3月3日、ひな祭り会をひらきました。クリスマス会に続いて、梁川保育園の園児の皆さんに来園いただき、利用者さんとの握手から始まり、元気な歌声、白虎隊の演舞（男子）や華やかな衣装を身にまとったの舞踊（女子）など、日頃の練習の成果を披露してくださいました。利用者の皆さんは、子どもさんたちの凛々しい姿に大きな拍手を送っていました。



▲華やかな衣装で踊りを披露

をとって、物忘れがひどくなり、生活に支障が出ること)。認知症とは通常、慢性あるいは進行性の脳の疾患によって生じ、記憶、思考、見当識、概念、理解、計算、学習、判断などの多数の高次脳機能の障害からなる症候群である（WHOの定義）。認知症の原因になる疾患としては「血管障害」（脳血管性認知症）、「退行変性疾患」（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症<ピック病>）があります。

また、認知症の原因別の割合は、アルツハイマー型認知症が50%、脳血管性認知症が30%、レビー小体型認知症が10%、その他10%となっています。

アルツハイマー型認知症

アルツハイマー型認知症とは、認知症をきたす疾患の中で一番多い疾患です。その原因は不明ですが、脳内でさまざまな変化が起こり、脳の神経細胞が急激に減ってしまい、脳が萎縮して（小さくなって）高度の知能低下や人格の崩壊が起こる認知症です。

アルツハイマー型認知症は8～10年の経過をたどって進行し、末期には高度の認知障害や運動機能の低下により全面介助を要する状態に至るとされています。



食を考える①

あつかし荘では、ソフト食の完全実施にむけて研究を重ねています。ソフト食とは、摂食・嚥下障害を持つ高齢者でも安全に食べることができるメニューをさします。特徴として「見た目の美しさ」「食事としての美味しさ」「誤嚥をしにくいなめらかさ」があげられ、その他、しっかりとした形があり、口に
取り込みやす
く、咀嚼しやす
く、まとまりやす
く、移送しやす
く、飲み込みやす
いといった特性があり
ます。

その一方で、これまでのきざみ食は、



▲魚のムース(左)とじゃがいもと人参の煮物(右)

本来「咀嚼障害」のための食事であり、いったんできあがった料理を刻んで提供するものです。しかし、これは、刻んでしまうために食塊(口の中で食べ物をまとめること)を作りやすく、誤嚥の危険性があるので嚥下障害には適していません。また、口腔内に食物残渣が多く、不潔になりやすいばかりか、なんとという見た目が悪く、食欲がわかないという欠点があり
ました。

ソフト食への挑戦～利用者の皆様に 食べる意欲と食べる楽しさを

心や身体が元気なころのように自由
に動かせなくなっ
ても、毎日の食事
だけは豊かなもの
にしてさしあげたい
。ソフト食が見た
目にこだわる理由
は、人が食事をす
るという行為は、
食事をするといい
意欲(食欲)を前
提とし、何より生
活の中で楽しみ
として位置づけら
れるからです。し
たがって、見た目
やおいしさがとて
も重要になるの
です。

参考・引用文献：黒田留美子『黒田留美子式高齢者ソフト食標準テキスト上巻・下巻』リベルタス・クレオ社刊

苦情相談 受け付けます

あなたやあなたのご家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについてご相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

【苦情受付担当者】

支援部長 鳴原 誠
主任生活相談員 宍戸 克己

【第三者委員】

弁護士 千葉 和彦さん
介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治さん
民生児童委員 中川 芳明さん

【苦情解決責任者】

施設長 小野 智義

居宅

あつかし荘指定 居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子
管理者兼介護支援専門員

みなさん、こんにちは。
あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、
○介護保険の申請手続きの代行
○ケアプランの作成
○各種サービスの情報提供など
を行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。 **ご相談は無料です。**

あつかし荘指定居宅介護支援事業所
電話 024-585-5610

あつかし掲示板

●ボランティアの皆さん (1/1 ~ 3/31)

【国見町】国見町婦人会連絡協議会様(清掃等)、磐青の会様(清掃等)、退公連伊達支部女性部様(利用者とお話)、菊地キミエ様(洗濯物たたみ)、宍戸京子様(同)、岩崎京子様(同)、大槻トリ様(米寄贈)、読み聞かせの会様(読み聞かせ)、菅野利津子様(ヴィオラ演奏)、もえ木の会様(折り紙)

【桑折町】桑折町連合婦人会様(清掃等)、小山美紀子様(洗濯物たたみ)、桑折町青少年健全育成町民会議半田部会様(だんご飾り)、無能寺住職様(彼岸供養)

【伊達市】梁川保育園様(ひなまつり)

【福島市】渡辺貞子様(ヴィオラ演奏)

●学生さん等の実習

ニチイ学館(訪問介護員2級)、県社協(福島大学/教育職員免許法の介護等の体験)

●サービス改善委員会、始動。

4月よりサービスの向上をめざし、まず「会話」「施設環境」「自立援助」など8項目のカイゼン計画を実行中です。週1回のモニタリングで確認しています。ご家族の皆様でお気づきの点がありましたら遠慮なくご指摘ください。

●人事異動

栄養士の上田佳奈子が梁川ホームへ異動となりました。栄養士は11月から勤務している原美由紀が担当いたします。

●職場風土改革推進事業

信達福祉会は、(財)21世紀職業財団の「職場風土改革推進事業実施事業主」の指定を受けました。当法人の規定等に基づき、職員が安心して働けるよう、仕事と家庭の両立を支援するための環境を整え、子どもの年齢、家族の状況やライフスタイルにあわせた多様な働きかたを推進しています。

編集後記

◆あつかし荘ではお掃除やお話相手、レクリエーションなど、たくさんのボランティアさんに支えていただいています。私たちが日頃から気づかないでいる点はないか、ご意見を伺いました。忙しいことを理由に利用者様とのコミュニケーションが不足していることを実感しました。

◆今年度のあつかし荘だよりは、「認知症」です。ご意見ご感想をお寄せいただければ幸いです。(S)

2009年5月1日号

あつかし 荘だより

編集 ● あつかし荘広報班
発行 ● 社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5の2
TEL024-585-5610 FAX024-585-5611
URL <http://www.shintatsu.jp>
E-mail: atsukashi@shintatsu.jp